

議員定数検討委員会の設置について

糸魚川市議会では、議会改革の重要課題の1つである議員定数について検討する、議員定数検討委員会を設置しました。

この委員会は議会運営委員会の諮問を受けて、昨年12月14日に第1回委員会を開催しました。今後、各種市民団体等との意見交換なども行いながら、3月末をめどに検討を進めます。

なお、委員会は一人会派の議員を含む12人で構成されています。構成議員は次のとおりです。



委員長 松尾 徹郎



副委員長 古川 昇

委員

保坂 悟・保坂良一・田原 実・吉岡静夫
五十嵐健一郎・高澤 公・樋口英一・野本信行
鈴木勢子・新保峰孝

「糸魚川医療生活協同組合 姫川病院」その後

質問

旧姫川病院の跡地について、土地所有者は借地収入が見込めない中で固定資産税を求められる状態となつてい



吉岡 静夫 議員
「糸魚川医療生活協同組合 姫川病院」その後

る。法令等以前の問題として、市で手立てを尽くすべきと考えるがどうか。
また、跡地・建物の対応策を具体的に打ち立てるべきだと考えるがどうか。

市長答弁

旧姫川病院の土地について

は、税の公平性の面から、土地や家屋等による収益の有無にかかわらず、法令に従って課税せざるを得ない状況である。
また現施設は、電気配線や冷房設備ユニット等が盗難に遭ったこともあり、活用するための改修費も多額となる見込みであることから、市として現施設の活用は考えていない。



「JR糸魚川駅前アーケード」改修工事の経緯・現況・見通し・対応

質問

アーケードの改修工事の概要は。また、全体工事費に対する地元関係者の負担割合はどうなっているか。

市長答弁

新しいアーケードの概要等は、事業主体の駅前銀座商店街振興組合が検討を進めており、市も関係機関とともにその整備を支援していく。
また、現時点では全体計画

や国庫補助事業等が不確定なため負担割合も不明確であるが、今年度実施のアーケード解体工事については概ね組合が4分の1、国が2分の1、市が4分の1の負担率となっている。

《その他質問項目》

- ・二人暮らしの高齢者、現状・推移・これからの見通し・対応
- ・東京電力柏崎刈羽原子力発電所内発生の貝ガラ処理問題
- ・「柵口温泉センター」の今後に関連して
- ・「パブリックコメント」の意義、取組姿勢

人権擁護委員

候補者の推薦

現委員の任期満了に伴い、次の6人の方が再度推薦されましたので、適任と認め答申しました。

太田 茂機さん (大字根小屋)
山本 明美さん (東寺町2丁目)
綱島 八十八郎さん (大字大野)
宮本 マサ子さん (一の宮2丁目)
吉岡 正成さん (大字田伏)
倉又 富美子さん (大字田海)

議員発議による

意見書の提出

9月21日の本会議で継続審査となつた発議第7号のほか、12月市議会定例会において議員発議による意見書が2件提出されました。結果は次の通りです。

〔発議第7号〕

「原子力発電所の段階的縮小と再生可能エネルギーへの転換・促進を求める意見書」

提出者 古川 昇
賛成者 保坂 良一

伊井澤 一郎
保坂 悟
後藤 善和